

国際学術シンポジウム「近世～近代移行期における周縁的社会集団の世界」事務局  
都市・周縁〈史料と社会〉科研

## 大阪公立大学国際学術シンポジウム 2021 フォローアップ・セミナー(第1回)

2020年度よりスタートした大阪市立大学国際学術シンポジウムは、7回の準備セミナーを経て、2021年度に「国際学術シンポジウム 2021 連続オンラインセミナーシリーズ」として、6回のオンラインセミナーを開催し、12月には日本・中国・アメリカ東部をつなぐメインセミナー・講演会を開催しました。

今年度は、これまでの国際共同研究の取り組みをさらに継承・発展させていくために、フォローアップ・セミナーを複数回、開催します。

フォローアップ・セミナー第1回は、近世～近代中央ユーラシア・ロシア史がご専門の濱本真実氏（大阪公立大学文学研究科）にご報告いただきます。17世紀から19世紀にロシア帝国のムスリムが作成した文書のうち、「嘆願書」を取りあげ、ムスリムの正教改宗やタタール商人の活動に触れながら、当該史料の性格について論じていただきます。

皆さまのふるってのご参加をお待ちしています。



コル・シャリフ・モスク  
(ロシア連邦カザン市、濱本真実氏撮影)

**日時** 6月29日(水) 17:00～19:00 ごろ

**報告** 濱本真実(大阪公立大学文学研究科)

**「17-19世紀ロシア帝国のムスリム史料としての嘆願書」**

**形態** Zoomでの開催

※参加希望の方は、下記事務局へメールでお申し込みください(会議ID・レジユメを送付)。

お申し込みの際には、氏名・アドレス、セミナー名、ご所属(差し支えない範囲で)を明記してください。

連絡・問い合わせ先

大阪公立大学国際学術シンポジウム事務局

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪公立大学大学院文学研究科 佐賀朝研究室 気付

E-mail [internationalsymposium2021@gmail.com](mailto:internationalsymposium2021@gmail.com) (上記QRコードからダウンロードできます。↑)

※基盤研究(A)20H00030「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位罫—〈史料と社会〉の視点から—」(代表・塚田孝)の研究活動の一環でもあります。

\*大阪市立大学は、2022年4月より大阪公立大学としてスタートすることとなりました。

